

令和 7 年度日本 NGO 連携無償資金協力署名式典

特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド(HoG)
「カンボジア王国 ICT 化による質の高い 4 年制体育教員養成大学支援プロジェクト」(第3年次)

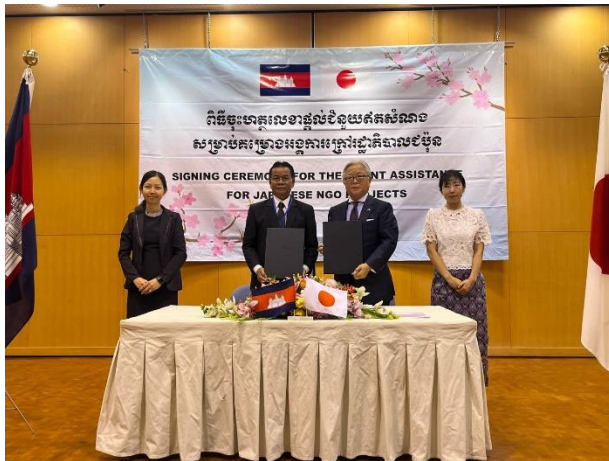
特定非営利活動法人 国境なき子どもたち(KnK)
「カンボジア、バンテアイミエンチェイ州におけるライフ・ロング・ラーニング・センター(LLLC/CLC)の
アクセス拡大を通じた子ども・若者支援事業」(第3年次)

令和 7 年 5 月 20 日(火)、令和 7 年度日本 NGO 連携無償資金協力に係る署名式典を当館多目的ホールにて開催しました。

署名式では、植野篤志特命全権大使が、(特活)ハート・オブ・ゴールドの米山遥香東南アジア事務所長との間で「カンボジア王国 ICT 化による質の高い 4 年制体育教員養成大学支援プロジェクト」(第3年次)(供与限度額 618,086 米ドル)について、(特活)国境なき子どもたちのスレイ・サカン現地事業統括との間で「カンボジア、バンテアイミエンチェイ州におけるライフ・ロング・ラーニング・センター(LLLC/CLC)のアクセス拡大を通じた子ども・若者支援事業」(第3年次)(供与限度額 564,572 米ドル)について、それぞれの贈与契約書に署名しました。

(特活)ハート・オブ・ゴールドは、2019 年より、N 連事業を通じて、カンボジア唯一の体育・スポーツ教員養成機関である国立体育・スポーツ研究所(NIPES)における 4 年制の体育教員養成過程の整備事業を実施しています。今回対象となる事業は、国立体育・スポーツ研究所のマネジメント上の課題として指摘されている 7 分野(図書館運営、国際センターの運営、内部評価システム、教員養成、学生管理、卒業生支援、安全管理)の状況を改善するため、ICT を活用して各分野の課題解決に取り組むものです。この事業により、国立体育・スポーツ研究所が持続的にシステム構築、人材育成、施設整備に取り組めるようになり、もってカンボジアにおいて質の高い中・高体育教員を持続的に養成できる体制が構築されることが期待されます。





(特活)国境なき子どもたちは、2000 年よりカンボジアで活動しており、現在はバットアン州を拠点とし、隣のバンテアイミエンチェイ州において、職業訓練を通じた若者の就労支援等の活動に取り組んでいます。3 年目を迎える本事業では、1 年次より継続してきたライフ・ロング・ラーニング・センター(LLLC/CLC)の運営支援や同等性教育の実施、職業訓練内容の見直し及び環境整備の支援に加え、新たに 2 つの LLLC を建設した

上で、資機材の供与を行います。この事業を通じて、未来ある子どもと若者たちが安定した職業に就き、より良い生活を送れるようになることが期待されます。



スピーチにおいて、植野大使は、今回の支援が対象地域の人々に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好関係の発展につながることを期待すると述べました。

続いて(特活)ハート・オブ・ゴールドの米山東南アジア事務所長及び(特活)国境なき子どもたちのスレイ現地事業統括がスピーチを行い、両者とも日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。

(了)

令和7年度 日本 NGO 連携無償資金協力贈与契約署名式典 植野大使スピーチ

2025 年 5 月 20 日(火) 於: 日本国大使館多目的ホール

特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド(HoG)「カンボジア王国 ICT 化による質の高い4年制体育教員養成大学支援プロジェクト」(第3年次)

特定非営利活動法人 国境なき子どもたち(KnK)「カンボジア、バンテアイミエンチェイ州におけるライフ・ロング・ラーニング・センター(LLC/CLC)のアクセス拡大を通じた子ども・若者支援事業」(第3年次)

- 特定非営利活動法人ハート・オブ・ゴールド東南アジア事務所長 よねやまはるか 米山遥香様
- 特定非営利活動法人国境なき子どもたち現地事業統括 スレイ・サカン様
- 御列席の皆様

本日、令和7年度 日本 NGO 連携無償資金協力事業2件の贈与契約署名式典を開催できることをうれしく思います。

日本 NGO 連携無償資金協力、通称「N 連」は、日本政府が日本の国際協力 NGO を対象に、開発途上国・地域で実施する経済社会開発事業を支援する制度として2002年に始まりました。カンボジアでは、2002年から現在まで、この制度を通じ160を超えるプロジェクトを支援してきており、これらのプロジェクトはいずれもカンボジア国民の生活の質の向上に直接貢献してきました。

ここで本日署名した事業について簡単に御紹介させていただきます。

はじめに、「特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド」が実施する事業に対しては、今回、日本政府から約62万米ドルを供与いたします。

ハート・オブ・ゴールドは、2019年より、N連事業を通じて、カンボジア唯一の体育・スポーツ教員養成機関である国立体育・スポーツ研究所(NIPES)において、4年制の体育教員養成過程を整備しています。今回対象となる事業は、国立体育・スポーツ研究所のマネジメント上の課題として指摘されている7分野(図書館運営、国際センターの運営、内部評価システム、教員養成、学生管理、卒業生支援、安全管理)の状況を改善するため、ICTを活用して各分野の課題解決に取り組むものです。この事業により、国立体育・スポーツ研究所が持続的にシステム構築、人材育成、

施設整備に取り組めるようになり、もってカンボジアにおいて質の高い中・高の体育教員を持続的に養成できる体制が構築されることを願っています。

次に、「特定非営利活動法人 国境なき子どもたち」が実施する事業に対しては、今回、日本政府から約 56 万米ドルを供与いたします。

国境なき子どもたちは、2000 年よりカンボジアで活動しており、現在はバタンバン州を拠点とし、隣のバンテアイミエンチェイ州において、職業訓練を通じた若者の就労支援等の活動に取り組んでいます。3 年目を迎える本事業では、1 年次より継続してきたライフ・ロング・ラーニング・センター（LLLC／CLC）の運営支援や同等性教育の実施、職業訓練内容の見直し及び環境整備の支援に加え、新たに2つの LLLC を建設した上で、資機材の供与を行います。この事業を通じ、未来ある子どもと若者たちが安定した職業に就き、より良い生活を送れるようになることを願っています。

近年、目覚ましい発展を遂げつつあるカンボジアですが、今御紹介した教育や職業訓練の分野のみならず、貧困対策、インフラ整備、環境を含む社会開発など、人々の生活向上のために取り組むべき課題はまだ山積していると認識しております。日本政府・在カンボジア日本国大使館としては、今後も、日本の国際協力 NGO の皆様と連携し、カンボジアにおける様々な課題の解決を後押ししていきたいと考えています。

本日 N 連の供与対象となった 2 つの事業が順調に進展し、大きな成果を収めること、また、本日御出席の皆様の御健康と御多幸、さらには日本とカンボジアの友好関係のますますの発展を祈念して私の挨拶とさせていただきます。

御静聴ありがとうございました。



EMBASSY OF JAPAN IN CAMBODIA

PRESS RELEASE

No. 23PR-25/EoJ

20 May 2025

**Japan Provides US\$1,182,658 for
Developing Quality Physical Education Teacher,
and Supporting Children and Youth**

The Government of Japan will provide US\$1,182,658 in total for two recipient organizations under the framework, *the Grant Assistance for Japanese NGO Projects*. The Grant Contracts were signed today between H.E. Mr. UENO Atsushi, Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of Japan to the Kingdom of Cambodia, and the representatives of the recipients, to carry out the following projects:

1. ‘Project on Developing 4-year Quality Physical Education Teacher Education University through Utilizing ICT (Year 3)’
(US\$618,086)

Recipient: Non-Profit Organization HEARTS OF GOLD (HoG)

In this project, HoG will implement activities to improve the management system of the university, such as library, international center, internal quality assurance, teacher development, student management, alumni support and security management in National Institute of Physical Education and Sport (NIPES) by utilizing ICT. This project aims to establish sustainable management structure in order to train teachers of physical education fitted with “Minimum Standards for Accreditation of Higher Education Institutions(MSAHEI)” in Cambodia.

2. ‘Children and Youth Support by Expanding Access to Lifelong Learning Center (LLLC) in Banteay Meanchey Province, Cambodia(Year 3)’
(US\$564,572)

Recipient: Kokkyo naki Kodomotachi (KnK)

In this project, KnK will continue to support youth, especially those who suffer from unstable jobs, lack of living skills, and dropping out of schools. For the first and second year of this project, three new LLLCs were constructed. For the third year, two new LLLCs will be constructed and equipped with learning materials. By providing equivalency education class and enhanced vocational training as well as close support to children and youth, they can acquire skills which helps them to create a foundation for a better life in their future.

The Grant Assistance for Japanese NGO Projects started in Cambodia in 2002 to support activities by Japanese NGOs to help Cambodia's reconstruction and development efforts at the grassroots level. Since 2002, the Government of Japan has provided nearly US\$60 million for over 160 projects, mainly in the field of primary education, health, agriculture and mine clearance in Cambodia.

Embassy of Japan in Cambodia

Tel: 023-217-161

Email: eco.jpn@pp.mofa.go.jp

Website: <http://www.kh.emb-japan.go.jp>